

令和7年度医学部看護学科入学者選抜
(学校推薦型選抜Ⅱ)

試 験 問 題

小 論 文

注 意

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけません。
- 2 問題紙は表紙を除き5枚です。指示があってから確認してください。
- 3 解答はすべて解答用紙の所定のところに記入してください。
- 4 解答表記では、2桁以上の算用数字と小数点を含んだ2文字の数字は半角扱い(1マスに2文字、小数点があれば、これを含める)で書いてください。
例) 2018年 → $\boxed{20}\boxed{18}\boxed{\text{年}}$, 1.5 → $\boxed{1.5}$
また、アルファベットの小文字は半角扱い(1マスに2文字)で、アルファベットの大文字は全角扱い(1マスに1文字)で書いてください。
- 5 問題紙は持ち帰ってください。

問題1 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

人は一人ひとり異なる個別的な存在です。しかし、お互いに理解不可能なほど異なっていることはない。人は、同じ生物種として基本的に同じような感覚器官や身体構造を持っており、同じように感じたり考えたりします。事実として、人はそれほど違ってはいないのです。

だからこそ、考えが異なる他者とでも理解しあうことが可能なはずですが。考えの違いの根底には、人間として共通の部分があるはずだからです。「この人の考えていることはわからないな」と思ったときでも、いったいどういう関心にもとづいて、何の目的でそのように考えているのかを聞いてみれば、わかることが多いでしょう。

もちろん、相手の考えがわかったからといって、それを自分も受け入れるかどうかはまた別のことです。受け入れられないなと思ったときには、どこがどうして受け入れられないのか、理由を言って説明し、相手の言い分を聞いてみる。それを聞いて、まだ納得できなければさらに問う。そうした手間のかかるやり取りのうえで、ようやくお互いに納得することもできるでしょう。そのようにして、お互いに納得のできる結論を作り上げることができたなら、それが (7) 「正しさ」というものです。

(中略)

最近、SNSなどで、自分の気に入らない主張に対して罵詈雑言を吐き、誹謗中傷を行う人がいることが問題になっていますが、そうしたふるまいは「正しさは人それぞれ」と表裏一体のものだといってもよいでしょう。「正しさは人それぞれ」は、自分自身の正しさの根拠や理由についても考えない態度を助長するからです。

お互いに納得するためには、自分が相手の考えを理解するだけでなく、相手に自分の考えを理解してもらわなくてはなりません。そのためには、自分の考えが正しい理由として、相手も納得するような客観的な根拠を示さなくてはならない。それはそれでたいへんに手間のかかる作業です。客観的な根拠を示すためには、調べなくてははいけません。世界についてのすべての事実が頭の中に入っている人などいないでしょうから。

最近ではインターネットで気軽に検索することができますが、インターネットにはウソの情報もたくさん掲示されています。その中から、より信頼性の高い情報を見極めることもなかなか手間がかかります。

しかし、「正しさは人それぞれ」と言ってしまえば、そうした努力をしないで済ませることができてしまいます。

近年、「正しさは人それぞれ」と手をたずさえて広がっている風潮に、「感情の尊重」があります。人間は不正に対して怒りを感じる感情的な傾向があります。感情は眼前の状況に対する反射的な反応です。自分でも理由がよくわからないままに、「やつは不正だ」という思いが自分の心に到来します。自分自身の正しさの客観的な根拠や理由

を考えない人は、この感情を正しさの根拠だと思ってしまいます。「自分が正しいと感じるから、自分にとっては正しいんだ」と。

しかし、そのように思ってしまうことは (1) 極めて危険です。感情、とくに不正に対する怒りの感情は、人間を暴力に駆り立てるからです。感情に従うと、相手のことを理解する前に攻撃することになりかねません。

ある一人の人に知覚される状況は、一面的なものにすぎません。相手がどういう思いでそう言ったのかとか、そう思うに至った背景や経緯は何なのかといったことは直接目には見えません。感情は、そうしたものに思いをいたすことなく反射的に作動してしまいます。それゆえに、自分の感情だけを根拠にして正しさを決めることはできないのです。

にもかかわらず、近年「感情の尊重」という風潮が広がっています。これは、感情が、自分の主張の客観的な根拠を示すという面倒なことをしなくても、ラクに自分の考えの正しさを保証してくれるように思えるからです。

(中略)

何か困難な状況に直面したときには、感じ方を変えるのではなく、状況を変えることの方が大切です。しかし、状況を変えるのはたいへんなことです。多様な他者と連帯して大きな運動の流れを作らなくてはなりません。「なんでも感じ方しだい」というような言葉は、困っている人を励ますよい言葉のように見せかけておいて、その実、困っている人を困った状況に放置する態度を助長する言葉です。

人間は一人では生きていません。自分とは異なる他者とも助け合って生きていかなければなりません。それなのに、「正しさは人それぞれ」とか「何でも感じ方しだい」といった、お互いに理解しあい助け合うことを拒否する態度が蔓延するのはとても困ったことです。

いまこそ、どうしたら多様な個々人が抑圧されないようにしながら多数の人たちが連帯できるのかという大きな課題にもういちど真剣に取り組まなければなりません。そのために、どうしたらよいのか、わかっていただけでしょ。一言でまとめると、「人それぞれはもうやめよう」ということです。「人それぞれ」と言ってしまいたくなくなったときにも踏みとどまって、相手のことを理解し自分のことを理解してもらおうとする努力を放棄しないことです。

山口裕之著：「みんな違ってみんないい」のか？ 相対主義と普遍主義の問題

(ちくまプリマー新書 2022年の213頁～219頁を引用し、その一部を改変して作成)

- 問1 下線部 (ア) 「正しさ」とは、具体的にはどのような意味か、50字以内で答えなさい。
- 問2 下線部 (イ) 極めて危険と著者が述べている理由を200字以内で説明しなさい。
- 問3 著者の主張を踏まえて、どのように人間関係を構築し、充実した大学生活を送ろうと思うか、あなたの考えを400字以内で述べなさい。

問題 2

問 1 次ページの2つの表は、国民の社会生活の実態を明らかにすることを目的として、1日の生活時間の配分及び1年間の主な生活行動について調査した結果で、表1は60歳以上の年齢階級別にみた一緒にいた人別の生活時間について2016年と2021年を比較したものです。表2は生活行動の種類別の行動した人の割合を示したものです。

2つの表から読み取れることを300字～340字で述べなさい。

問 2 問1を踏まえ、高齢者が一人でいる時間を減らすための対策について、あなたの考えを320字～360字で述べなさい。

表1及び表2は「令和3年社会生活基本調査 生活時間及び生活行動に関する結果」(総務省統計局)の表4-1と政府統計の総合窓口(e-Stat)の表1-1を一部改変して作成

表1 年齢階級別にみた一緒にいた人別の生活時間の2016年と2021年の比較
週全体の平均時間（睡眠時間を除く）

	一人で			家族			学校・職場の人		
	2016年	2021年	増減	2016年	2021年	増減	2016年	2021年	増減
60～64歳	5h58m	6h44m	0h46m	5h52m	5h18m	▲0h34m	2h37m	2h45m	0h08m
65～69歳	6h16m	6h49m	0h33m	6h23m	5h57m	▲0h26m	1h22m	1h30m	0h08m
70～74歳	6h12m	6h51m	0h39m	6h43m	6h08m	▲0h35m	0h37m	0h46m	0h09m
75～79歳	6h21m	6h37m	0h16m	6h33m	6h03m	▲0h30m	0h20m	0h17m	▲0h03m
80～84歳	6h18m	6h40m	0h22m	6h30m	5h40m	▲0h50m	0h09m	0h08m	▲0h01m
85歳以上	6h06m	6h34m	0h28m	5h51m	5h24m	▲0h27m	0h03m	0h04m	0h01m

(_h_m: _時間_分) (▲:マイナス)

表2 年齢階級別にみた生活行動の種類別の1週間で行動した人の割合

	通勤・ 通学	仕事	テレビ・ ラジオ・ 新聞・ 雑誌	休養・ くつろぎ	趣味・ 娯楽	ボラン ティア活 動・社会 参加活動	交際・ 付き合い
60～64歳	39.9	51.4	75.8	67.4	22.0	1.8	6.6
65～69歳	25.6	36.1	83.8	66.8	27.6	3.2	7.6
70～74歳	15.2	25.2	88.4	65.9	28.3	3.7	8.7
75～79歳	8.5	15.6	89.3	65.6	29.5	3.3	10.5
80～84歳	5.2	10.8	88.5	66.2	24.9	3.0	8.9
85歳以上	3.3	4.8	83.7	69.3	18.5	1.1	7.3

(単位:%)